

2026年3月18日

各位

行田市教育委員会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

金融経済教育に係る連携協定の締結について

行田市教育委員会(教育長 渡辺 充)と三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 三菱UFJモルガン・スタンレー証券)は、2026年3月17日、次世代を担う子どもたちへの金融経済教育に関し、相互に連携、協力するための協定(以下 本協定)を締結したことをお知らせいたします。本協定は、金融経済に関する知識習得にとどまらず、よりよく生きていくことについて主体的に考える力を育成する探究学習の充実を図ることを目的としています。

行田市は変化の激しい時代において、行田市の子どもたちが時代の要請に応えるスキルと生き抜く力を育み、自信を持って様々なことに挑戦し、困難な状況にあっても自らの力で進むべき道を切り拓くことができるような人材の育成に日々取り組んでいます。また、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは金融経済教育を優先的に取り組む10課題のひとつとしてグループ一体にて推進しており、三菱UFJモルガン・スタンレー証券では、次世代への金融経済教育を社会貢献活動の軸軸とし探究学習を重視したプログラムを展開しています。両者の金融経済教育に対する姿勢や方針が合致し、このたび、本協定の締結に至りました。

【連携・協力の内容】

1. 人生100年時代を見据え、社会に開かれた教育課程を通して、変化の激しい時代に必要となる資質や能力を育み、探究学習を通じて子どもたちに金融経済への関心を喚起する。ひいては、教科横断的かつ探究的な学びを行うことにより、子どもたち一人ひとりの「生き抜く力」を確実に育む。
2. 三菱UFJモルガン・スタンレー証券は行田市教育委員会に金融経済教育プログラムを提供するとともに、必要に応じて、役職員を派遣し、金融経済に係る指導・助言を行う。

行田市教育委員会と三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、今後も相互に協力しながら、次世代を担う子どもたちが将来に向かって進むチカラになるべく、金融リテラシーの向上と、「貯蓄から資産形成へ」を後押しする金融経済教育を通じて、社会に貢献してまいります。



締結式の様子

以上